

令和2年度卒業証書授与式・令和3年度入学式について

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度卒業証書授与式（3月18日）および令和3年度入学式（4月8日予定）については、参加者を限定し実施することといたします。

つきましては、来賓の皆さまの卒業証書授与式および入学式への参加を見合わせていただくこととなりました。何とぞご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

なお、卒業生および入学児童の保護者・家族の出席につきましては、1家庭2名までとさせていただきます。重ねてお願い申し上げます。 校長 丹野 宏紀

スクールアドバイザー会議

1月20日（水）学校評議員の皆さまよりご出席いただき、スクールアドバイザー会議を開催いたしました。授業参観では、GIGAスクール構想に向けたタブレットを使った「個別最適な学び」の様子や生活科の制作活動、体育の縄跳びを使った体力を高める運動などを見ていただきました。その後、2学期に実施した、児童・保護者・職員の自己評価について話し合い、学校関係者としての評価をいただきました。学校評価の結果は、『学校通信2月』に掲載予定です。



学校保健委員会

1月20日（水）学校保健委員会を開催しました。「新型コロナウイルス感染症対策の取組みの成果と課題」や「より効果的な生活リズム調査の在り方」、「コロナ禍の中での体力向上の取組み」について活発な意見が出されました。「心身のバランスの取れた発育には、子どもたちの自由な遊びが重要である」ことを改めて感じた学校保健委員会でした。



【2月の主な行事予定】

- | | |
|--------------------------------------|---------------------|
| 1日（月）安全点検 | 16日（火）通学班会 |
| 3日（水）1・2年チューブ滑り | 17日（水）交通指導員さんへの感謝の会 |
| 9日（火）全校朝会 子ども文庫 | 18日（木）児童集会（ASG委員会） |
| 10日（水）授業参観・学級懇談会
PTA 全体会・部会・常任委員会 | 24日（水）委員会活動 |
| 15日（月）職員会議 | 25日（木）児童集会（卒業式の歌） |
| | 26日（金）6年生を送る会 |

学校通信



耕

河北町立谷地西部小学校

令和 3年 1月31日
No. 272
電話 71-1108

教育目標 笑顔いっぱい ひとみ輝く 西部っ子

子どもたちが歴史の証言者に 【歴史的価値ある文献】 としての学校文集に思う

～学校文集『つくし70号』子どもたちの作文から～ 校長 丹野 宏紀

今年も「子と親の文集『つくし』」が2月に発刊されます。今年の子どもの作文から感じたことを、文集の巻頭言として以下のように書き記しました。一部を抜粋してご紹介いたします。「4月になりました。学校は、はじまりませんでした。コロナだからです。わたしは、春休みがながくていいなと思うときがたまにありました。でも、早く学校に行きたいと思っていました。」

2年女児の作文より

「今年の夏休みは、コロナウイルスのせいで、いつもよりおそい8月1日からでした。夏休みに入る前の7月28日には大雨がふり、最上川があふれるくらいに水が上がってきたので、河北町も大変なことになりました。」

5年女児の作文より

新型コロナウイルス感染症によって、生活は大きく変わりました。子どもたちは、3月上旬から5月中旬にかけ「学校に行かずに家にいる生活」をしなければなりません。また、7月末には、県内の広い範囲が豪雨に見舞われ、最上川が氾濫する「令和2年7月最上川水害」が発生しました。学校の北側を流れる滝ノ沢川も、みるみるうちに水位が上がりとても怖い思いをしました。町内の被害も甚大で、7月29日（水）は、臨時休校となりました。前述の5年女児の作文には、「わたしは、コロナウイルスや大雨で今年はいいいことがないなと思いました。」という一文があります。その通りです。誰もがそのように思う令和2年度であったと思います。

学校文集『つくし第70号』のページをめくると、新型コロナウイルス感染症によって、これまでできたことができなくなった「くやしき」や「悲しき」など、自分の気持ちを素直に表現した作文が数多く登場します。そのような状況下で、「どのような工夫をして乗り切ったか」を記した作文もありました。また、7月の未曾有の水害に対応するために、連日、夜遅くまで仕事に専念する家族を思いやる作文もあります。これらの作品は、「今年しか書けない作文」です。言い換えれば、「今年だから書けた作文」とも言えます。

「歴史の語り手」という言葉があります。子どもたちの作文の一つ一つが、今まで誰もが経験したことのない歴史を克明に記してくれています。子どもたちが、実際に体験し、感じた作文は、まさに真実を後世に伝える「歴史の証言」です。



5月11日（月）学校が再開…昼休み

1月8日 書き初め大会

本年度は、感染症対策のため、1、2年生は各教室、3、4年生は図工室、5、6年生は多目的ホールと分散しての大会となりました。校内からすべての音が消えてしまったような静寂の中で、子どもたちは、一文字一文字に想いを込めて作品を仕上げていきました。



本年度は、感染症対策のため、1、2年生は各教室、3、4年生は図工室、5、6年生は多目的ホールと分散して

1月15日 べに花染め

紅花研究サークルの皆さまを講師にお迎えし、「5・6年生べに花染め体験学習」を実施しました。べに花に関する学習は、「べに花のいのちのバトンをつなぐ」のテーマのもと、西部小にとって大切な学習の一つです。春先の畑作りと種まき、初夏のべに花つみとべに餅つくり、そして、冬のべに花染めと、1年間を通して「べに花を身近に感じる学習」に全校生で取り組んでいます。今回は、卒業制作として5・6年生がべに花染めに挑戦しました。

オフホワイトのシルクのハンカチや真っ白な和紙が、あざやかなべに色ややさしい黄色に変身していきます。べに花染めの和紙は、「卒業書写」として、ハンカチは、3月18日、卒業式で卒業生の胸ポケットにおさまります。

べに花染めのハンカチを忍ばせ西部小を巣立っていく7名の卒業生の凛とした姿が思い浮かべられます。【実際の色は西部小HPにてご覧ください。】



1月22日 だんごさし

1・2年生がだんごさしに挑戦しました。今年は、お家の人といっしょに活動する機会があまりなかったため、お母さんやおばあちゃんといっしょのだんごさしをととても楽しみにしていた1・2年生でした。お家の人よりだんごを丸めるコツを聞きながら、色とりどりのだんごをたくさん作ることができました。出来上がっただんごは、1階展示ホールの大きなみずきの木に飾りつけられました。白、黄、赤、緑と色とりどりのだんごとふなせんべいで飾られただんご木は、一足早く西部小に春を届けてくれたような感じがします。

